

名古屋市立大学経済学部  
茨木 智, 高谷 南帆

テキストマイニングを用いた  
日本の音楽メロディのコード比較分析

(要旨)

March 2024

# テキストマイニングを用いた 日本の音楽メロディのコード比較分析

茨木 智, 高谷 南帆

2024年3月29日

## 要旨

昨今の音楽シーンでは、10代20代のアーティストが歌う楽曲に対して、「懐かしい」や「どこか聞いたことがある」といった評価が与えられることがある。また、すでに日本の楽曲のメロディのバリエーションは枯渇していると言われることもある。実際、昭和、平成、令和の各時代にヒットした楽曲のメロディは果たして類似しているのでしょうか。

本研究では楽曲の類似性という抽象的なものを使用するコードの違いから判別できないかを考える。具体的には、楽曲のフレーズごとに使用されているコードを単語とみなし、1曲をその単語の連続した文章とみなす。そしてテキストマイニングを用いることで、文章としての類似性、相違性を読み取ることを考える。今回の分析ではメジャースケールの曲を対象とし、昭和から令和を7つの時代に分けてそれぞれを比較した。

今回の分析の結果からは、平成の時代はあまり曲調の変化がなく、昭和が最も曲調に特徴がみられること、また昔の曲と同じようなコードを使用している最近の曲が必ずしも懐かしい曲調であるとは限らないということが分かった。今回の研究ではマイナーコードの曲を考慮していない結果であるので、それらの曲も考慮していくことが今後の課題である。